

西脇市における調査結果の概要

- 調査の目的**
- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査対象 小学校6年生、中学校3年生

- 調査内容**
- ①教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
 - ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

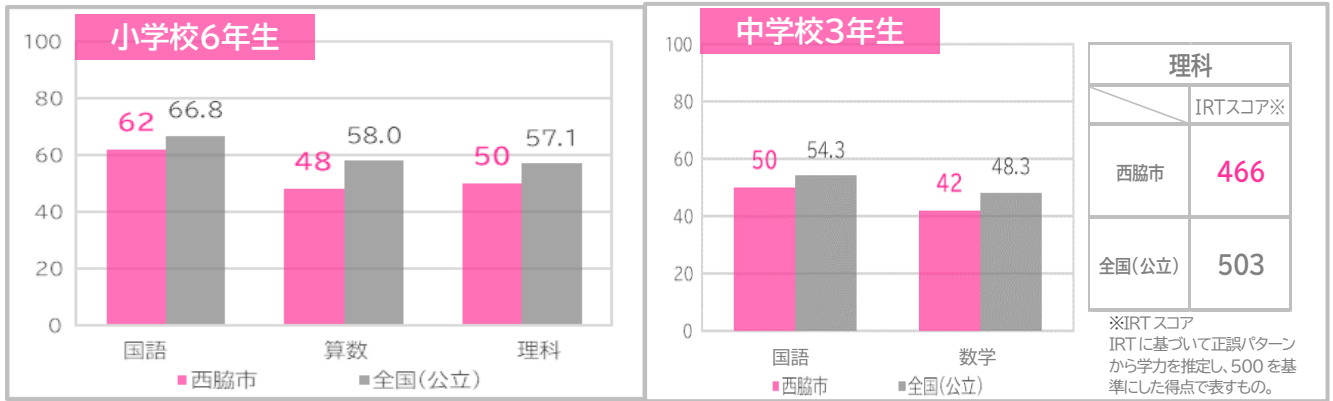
令和7年度全国学力・学習状況調査の西脇市における結果についてお知らせします。今回の結果を踏まえ、今後の本市の教育施策や学校での取組に生かし、より一層充実した教育を進めてまいります。

なお、この学力調査の結果は、子どもたちが身につけるべき学力の一部を示すものであり、これだけで子どもたちの力をすべて評価できるものではありません。この点について、ご理解をお願いいたします。

西脇市の子どもたちの学力と全国値

平均正答率(%)・平均IRTスコア(※)による結果の概要

※中学校理科は CBT(コンピュータ試験)で実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアで表示



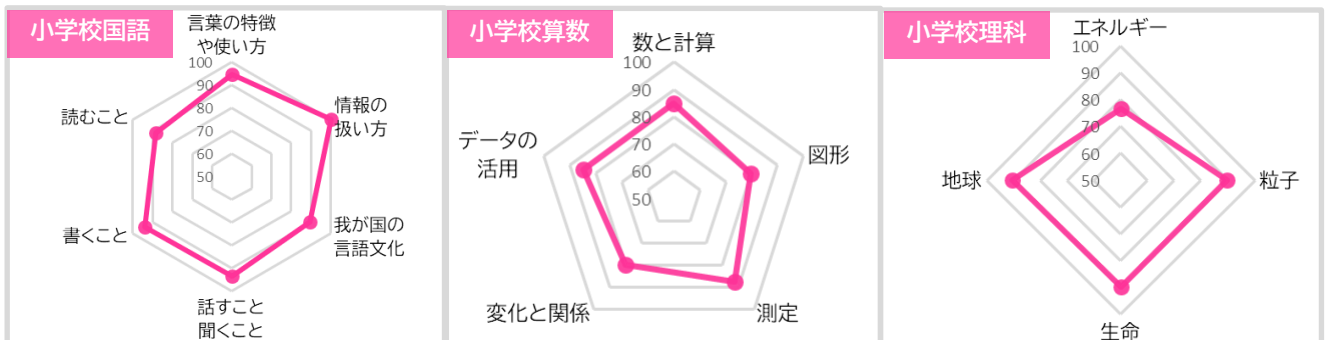
このたびの調査では、小学6年生・中学3年生ともに、全教科で全国平均を下回る結果となりました。特に、文章や情報を正しく読み取る力、情報を結び付けて考える力、そして論理的に書く力に課題が見られます。

一方で、授業での1人1台端末の活用は全国よりも進んでおり、「自分のペースで理解しながら学習できる」という意識も高い傾向にあります。学力の基盤となる情報を活用する力は、学校での学習だけでなく、受験や将来の仕事・生活においてもますます重要になります。

今後も、市教育委員会と学校が連携し、「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善をさらに進めてまいります。また、すべての教科で情報活用能力を育て、子どもたちが自ら学ぶ力を身につけられるよう取り組んでいきます。

各教科の状況 [成果(○)と課題(・)]

全国平均を100として市平均と比較(中学校理科を除く)



○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる

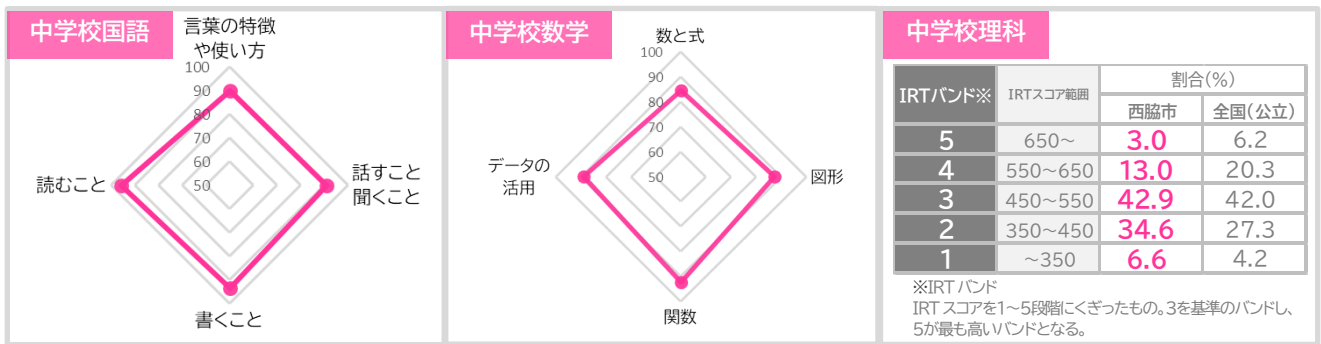
・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる

・棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる

・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができる

○花のつくりや受粉についての知識が身に付いている

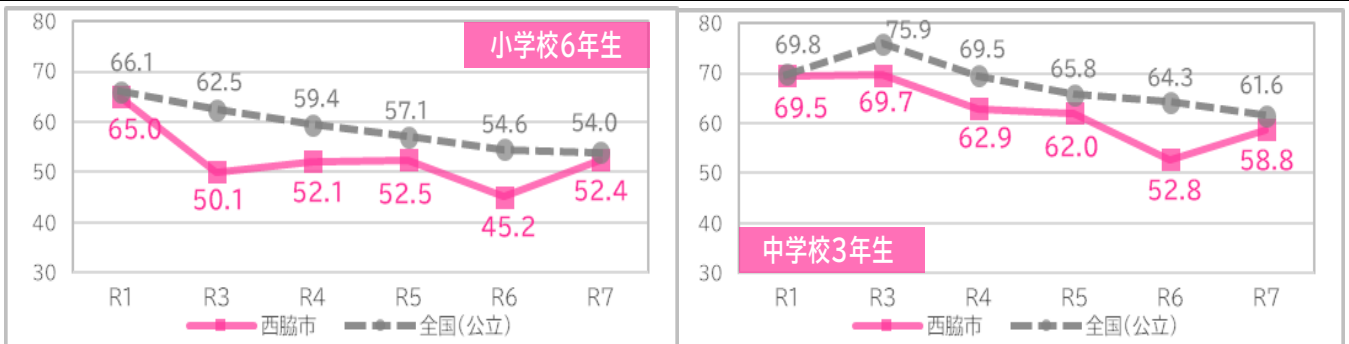
・実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができる



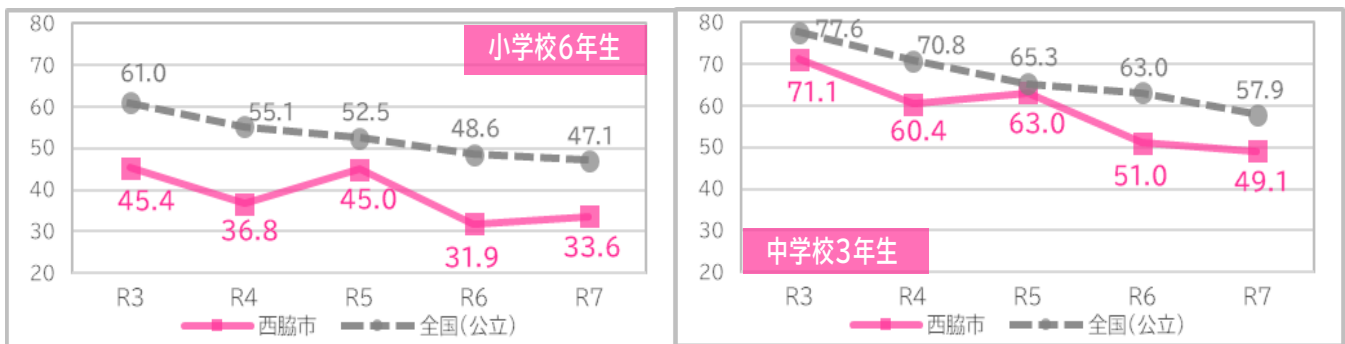
勉強時間の減少とゲーム・スマホ等の利用時間の増加

グラフの数値は児童生徒数の割合(%)

□ 平日、1日あたり勉強する時間(1時間以上)



□ 休日、1日あたり勉強する時間(1時間以上)



平日の1日あたりの勉強時間(1時間以上)は、小学6年生・中学3年生ともに昨年度より増加しました。しかし、平日の勉強時間は全国平均より少なく、休日の勉強時間は全国を大きく下回っています。その背景の一端として、テレビゲームやスマートフォン、動画視聴の利用時間が増えていることが指摘されています。分析の結果、これらの利用時間が長くなるほど、学力調査の結果に影響が出る傾向が見られます。

今後は、ゲームやスマートフォン、動画視聴などの時間を適切に管理し、家庭学習や読書の時間をしっかり確保していくことが大切です。学校とご家庭が協力し、子どもたちの学習習慣の定着に取り組んでいけるよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

保護者の皆様へのお願い

「兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり」リーフレットより

確かな学力を身につけるためには、授業の充実に加えて、家庭での学習習慣や基本的な生活習慣をしっかりと身につけることが大切です。お子さまが自立し、心豊かに成長できるよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

- ☑ 家庭学習 子どもが落ち着いて家庭で学習できるように、励ましの声かけをして、がんばりを認めている。
- ☑ ネット利用のルール作り スマートフォンやパソコン等について、子どもと話し合ってルールを決めている。
- ☑ 家族とのふれあい 食事を一緒にとったり就寝前の時間を利用したりして、学校での出来事や勉強等について話し合っている。
- ☑ 読書習慣 絵本の読み聞かせや一緒に図書館へ行くなど、読書する習慣づくりをしている。